



War Cry

6月号

福音版
2019
June
No.2785

二〇一九年 六月一日発行

明治二十八年創刊

福音版・毎月一日発行

広報版・奇数月十五日発行(除く七月)

GOOD NEWS ときのかえ

「終活」それは 生きることを考える作業

張田 直子

いつくしみ深き
友なるイエスは
罪とが憂いを
とり去りたもう
こころの嘆きを
包まず述べて
などは下さぬ
負える重荷を
(讃美歌「三二二番一節」)

私の勤める救世軍清瀬病院の一室に、賛美歌が流れ出しました。お見舞いに来られたご家族の方とチャプレン、そして、酸素のパイプがつけられ、ベッドに横になっておられるKさんの方、静かにアルトのパートを歌われます。

その後、
「主は羊飼ひ、わたしには何も欠けることがない。主はわたしを青草の原に休ませ、憩いの水のほとりに伴ひ、魂を生き返らせてくださる。……命のある限り、恵みと慈しみはいつもわたしを追い。主の家にわたしは帰り生涯、そこにとどまるであらう」(詩編23編)

清らかな賛美歌のメロディに心打たれたのでしょいか、涙でご本人のお気持ち伝えてくださいました。病院のスタッフが、会話が難しくなっている方の聴覚を頼りに、ご家族が持つてこられた音楽をCDで流していた時の出来事でした。そこには、生活が潤されるように、とのスタッフの願いが込められていました。

最近、「終活」という言葉を目にする事が多くなりました。ある新聞が「終活をしていますか?」というタイトルで特集を組んでいました。千人ほどからアンケートをとり、先の問いに対し「いいえ」と答えた方が六割強。「はい」と答えた方は三割強でした。「いいえ」と答えた方の理由として、今は若いので考えられない、面倒くさい、「終活」という言葉が好きでない、等が挙げられ、六割の方が「そのうちに考える」と答えておられました。一方、「はい」の理由として、残された人が困らないように、自分の最期を自分で決めたい、相続や財産の処分、また葬儀などのことを自分で決めておきたい、等々が挙げられていました。コメントには、「終活」という言葉は好きでなくとも、生きるための活動ととらえた方が多くおられ、また、両親の終活に取り組んだ結果、自分の人生を見つめ直す機会になったという声がありました。



その後、同室の方々に、「うるさくしてごめんさい」と、挨拶にうかがったところ、お隣のベッドの方が目に涙を浮かべておられました。今歌われた

「終活」とは、その人が何を大切に思って生きてきたかについて考えさせ、さらに、一日一日を、どのように生きていくのかを問う作業なのではないでしょうか。

皆様も、日々の歩みを導かれる神様のご配慮にお気づきになれますよう、お祈り申し上げます。
(救世軍士官(伝道者))

「誰を遣わすべきか。誰が我々に代わって行くだろうか。」

「わたしはここにおります。わたしを遣わしてください。」

今、神様によってここに遣わされました。まず言葉が課題ですが、文化の違いも感じています。今は、期待と不安の中にあるのが正直な気持ちですが、神様は、私をこの日本に遣わすためにも、すでに道を備えていてくださっていることを信じています。

(救世軍士官・医療部長)



コンゴ民主共和国の高齢者施設の施設長をしていた頃。一緒に写っている次女アレクサンドラは、3歳でした

私が十代の時、救世軍で「若者をキリストへ」という催しがあり、そこで、ピーターに出会いました。共通の友人がピーターを誘っていたのです。一九八一年七月に結婚し、二人のかわいい娘を授かりました。長

ことが神様の御心だと感じたのは一九八四年でした。けれどもその後十年間、神様の招きの声を無視し続けました。自分が望んでいたことを手放す準備ができていなかったのです。その間に仕事のキャリアや所有物を得ましたが、それらが私に幸福をもたらすことはありませんでした。

一九九五年、人生の試練を経験する中で、神様は再び私に声をかけてくださいました。とても明確に一九九六年に士官学校に入ることを示してくださいだったので、今回は無視することなくピーターと共に入学しました。士官になる以前には、軽度から重度の発達障害をもつ子どもや青年との共同作業を専門とする正看護師としての訓練を受けていました。また、総合看護と精神医学の資格も得たのですが、それらのスキルは士官となつてからもずっと神様に用いていたいただいています。

この部分を封書か葉書に貼り、裏面の救世軍にお送りください。

十個のピットトイレ(簡易式トイレ)を設置し、千五百の家族に基本的な物資を提供しました。

私の好きな聖書の言葉は、イザヤ書六章一〜八節です。預言者イザヤは、天国の幻の中で、天的な生き物たちが主を礼拝しているのを見ました。その様子に、彼は怖れを覚え、目の前で繰り広げられているものを見るには、自分は全くふさわしくない、と感じます。けれども、神は彼を罪から清めることによって、彼をふさわしいものとしてくださいました。

私は、クリスチャンホームの中で育ち、家族で救世軍の小隊(教会にあたる)に通い、様々な活動に熱心に参加していました。

私は、八歳の時に、自分から神様を信じ、神様に、私の人生の導き手となってください、とお祈りしました。以来、神様に背を向けてしまうようなことがあっても、その度にもう一度神様に自らを献げる、ということを重ねてきました。

女は結婚してカナダに住み、次女はシドニーで私の兄弟と暮らしています。

私は、八歳の時に、自分から神様を信じ、神様に、私の人生の導き手となってください、とお祈りしました。以来、神様に背を向けてしまうようなことがあっても、その度にもう一度神様に自らを献げる、ということを重ねてきました。

一九九五年、人生の試練を経験する中で、神様は再び私に声をかけてくださいました。とても明確に一九九六年に士官学校に入ることを示してくださいだったので、今回は無視することなくピーターと共に入学しました。士官になる以前には、軽度から重度の発達障害をもつ子どもや青年との共同作業を専門とする正看護師としての訓練を受けていました。また、総合看護と精神医学の資格も得たのですが、それらのスキルは士官となつてからもずっと神様に用いていたいただいています。

「そのとき、わたしは玉座から語りかける大きな声を聞いた。『見よ、神の幕屋が人の間にあって、神が人と共に住み、人は神の民となる。神は自ら人と共にいて、その神となり、彼らの目の涙をことごとくぬぐい取ってください。もはや死はなく、もはや悲しみも嘆きも労苦もない。最初のものは過ぎ去ったからである。』(ヨハネの黙示録21章3、4節)

私たちが人間は、本当に苦しみの多い世界に生きています。私たちが、本当に苦しみの多い世界に生きています。私たちが、本当に苦しみの多い世界に生きています。

悲しみも嘆きも労苦もない天国を待ち望みつつ人々に仕えています

ゲイル・ホワイト

信仰の体験談・証言のページ

主の栄光を語り伝えよう

2019
Declare His Glory

この春、日本の救世軍で奉仕するためにオーストラリアから赴任した、ピーター・ホワイトさん、ゲイル・ホワイトさん夫妻。お二人のこれまでの歩みや神様の導きについて語ってくださいました。



私の両親はクリスチャンではありません。父は虐待傾向が強く、無神論者だと公言していました。母は教会に通っていませんでしたが、私が教会の日曜学校に行くように励ましてくれました。私が十七歳の時、両親は離婚しました。ある時、親友に誘われて救世軍の青年グループの行事に参加したことが、救世軍に来るようになったきっかけです。その後も続けて救世軍に行くようになったのは、一人の女の子に出会ったからです。やがて彼女と結婚し、「私の教会は救世軍」となりました。

救世軍に導かれる前、幼い頃から通っていた教会で、イエス様のことを学び、知ってはい

士官学校に入るまで、私は様々な分野で、正看護師

部分、HIV/AIDSの影響にある人々を支援し、彼らが地域社会で健康的な生活を送ることができるよう援助するプログラムのための働きでした。

ピーター・ホワイト

ピーター・ホワイト

ピーター・ホワイト

医療を通して世界の各地で支援の働きをしてきました(南アフリカ)

医療のスペシャリストとして世界各地で奉仕してきました

創立者 ウイリアム・ブース 大将 プライアン・ペドル (万国本営 英国ロンドン)

日本司令官

ケネス・メイナ

(救世軍本営 東京都千代田区)

http://www.salvationarmy.or.jp



世界をみつめて

〈アフリカ〉サイクロン「イダイ」被災地支援

3月中旬、時速200キロメートルの風を伴うサイクロンがアフリカ南部のモザンビーク、ジンバブエ、マラウイを襲い、800人以上が命を落としました。約1カ月たった4月14日現在、少なくとも160万人の子どもが、保健、栄養、保護、教育、水と衛生の緊急支援を必要としている、とユニセフ(国連児童基金)は発表しています。

道路、電気・通信設備の被害が大きく、支援活動も影響を受けています。



●モザンビークの救世軍は、赤十字や他の団体と連携し、最も被害の大きかったベイラで500セットの緊急食糧支援(1日2食・21日間分)をしました。



●ジンバブエでは、多くの住居や橋が崩壊しているため、救世軍は政府と協力して南東地域の167の家庭へ、食料や毛布等を供給する支援をしました。



- 〔優秀賞〕
外つ国の兄弟姉妹も 社会鍋
東京都・那倉基夫
- 〔特別賞〕
抱っこ紐のイクメンパパも 社会鍋
東京都・かぐや姫
- 老婦人畳んで入れる 社会鍋
静岡県・中津川勝雄
- 〔ほのぼの賞〕
コスプレの子ら囲みたる 社会鍋
静岡県・高田三江子
- 教科書の話にしたい 社会鍋
千葉県・ひかるちゃん
- ぼくだってするよと孫も 社会鍋
愛知県・フーマー

- 〔社会福祉部賞〕
社会鍋帽子の下のやさしき日
愛媛県・砂山恵子
 - 数百食作るカレーの 社会鍋
千葉県・高橋和子
 - 昔あり今も銀座の 社会鍋
埼玉県・渡邊紀夫
 - 慈善鍋今はネットで受け付ける
東京都・佐藤たけし
 - たくさんのご応募ありがとうございました。
- 授賞式は、六月十六日(日)「救世軍創立記念コンサート」(下記参照)の席上、おこなわれます。
- ※前回(第一回)の全応募作品は、救世軍公式ホームページでご覧いただけます。

第三回 救世軍社会鍋俳句コンテスト入賞作品発表!

全国から四百六句寄せられました。三浦喜代子氏(日本クリスチャンペンクラブ代表)による厳正なる選考の結果、左記の方々の句が入賞いたしました。

救世軍創立記念コンサート 及び 第3回社会鍋俳句コンテスト授賞式

日時: 6月16日(日) 午後3時 会場: 山室軍平記念ホール
出演: ジャパン・スタッフ・バンド(英国式金管バンド)、台湾の救世軍の子どもたちによる合唱他



救世軍とは? What is The Salvation Army? 心は神に 手は人に Heart to God, Hand to Man

救世軍はイギリスに国際本部があり、世界131の国と地域で活動する、プロテスタントのキリスト教会です。1865年、英国のメソジスト教会の牧師であったウイリアム・ブースによって始められ、家のない人々、仕事に就けない人々、アルコールにおぼれる人々、搾取される女性や顧みられない子どもたち、災害に遭った人々などに助けの手を伸べつつ、神様の愛を伝えてきました。

日本での働きは、1895(明治28)年に始まり、伝道の拠点である小隊(教会にあたる)を開設。廃娼運動、失業者対策、病院や結核療養所の設立、児童養護や女性保護、アルコール依存症者回復支援など、時代にさきがけて、人々の必要に応える様々な働きを興してきました。

救世軍の医療の働きは、日本において100年以上の歴史をもっています。救世軍は、6月第1日曜日を医療サンデーと定めており、今年6月2日には、東京で「終活」をテーマにした講演と語り合いの時をもつことになっています。

(取扱支部)

救世軍は、統一協会、エホバの証人、モルモン教ではありません。これらの問題はお悩みの方は、右救世軍にご相談ください。

発行日及び定価

発行日 福音版・毎月一日発行

定価 福音版・奇数月十五日発行除く七月

福音版・一部 四〇〇円

クリスマス特集号(十二月一日号) 一〇〇円

振替・〇〇二八〇五四四〇〇

印刷兼 救世軍

印刷人 代表者ケネス・メイナ

編集人 寺澤 真由子

〒101-0051 東京都千代田区

電話 東京(03)三三七〇八八一

発行所 救世軍本営

印刷所 図書印刷株式会社